



OB会だより

国臨協OB会関東信越支部

平成26年 9月 1日
NO 60 号
発行責任者 小原 千秋
編集責任者 宮野 勝秋
国臨協関信支部OB会事務局
東京都調布市小島町3-89-4
TEL: 0424-86-6710

第33回OB会総会・懇親会開催



国臨協OB会関信支部の総会・懇親会が、去る6月7日(土)アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて会員39名と国臨協関信支部・本部・技師長会の各役員の出席を得て盛大に開催された。

総会は、小原会長の挨拶と経過報告から始まり、OB会の事業目標としまして、平成26年度は次のような目標を掲げました。

1. 会員名簿の作成

個人情報のある事もありますので、今日まで名簿作成を控えておりました。

2. 長寿を祝い記念品の贈呈

昨年度の総会で話が出ましたが、平成27年度から80歳・85歳・90歳以上の会員の方に記念品を贈ることになりました。

3. OB会ロゴマークの作製

国臨協関信支部ロゴマークの中に、OB会の文字を入れたものをロゴマークとしたい。

4. 会費1000円の値上げ(年会費3000円)

年金額がだんだん少なくなっていく今日、心苦しいのですがOB会の新聞等にかかる経費(紙・インク・メール便)が嵩んできております。

5. OB会だよりの発行 昨年通り年3回の

発行を目指します。

会計報告(岩村理事)会計監査報告(渡辺監査)新役員選出(國見役員推薦長)の報告あり、それぞれ原案通り承認された。続いて、佐藤乙一氏、各国臨協役員(技師長会・本部・支部)・新入会員挨拶があり滞りなく総会終了。

懇親会は、杉崎 登氏の乾杯の音頭で開演。司会は国見さんが担当。参加者全員の近状報告がなされた後、また、会員や現役も交えあちこちで、久しぶりの再会の中、楽しい懇談が見られた。

司会者の楽しい演出にのせられ、会は盛り上がりを見せた。最後に配布された歌詞から”今日はさよなら”を全員で斉唱し。記念撮影となり、お互いの健康と来年の再会を約束して終了した。

OB会まだまだ健在。平成27年6月6日のOB会総会が開催是非参加を。また、タイトルに掲げた”第一目標 東京オリンピックを この目で この脚で”。

(副会長 宮野勝秋記)

近況報告

(第33回総会返信ハガキより) (敬称略・順不同)

高野友丈：元気ですが、老化へ真しぐらの状況です。

藤川淳策：6月中旬にベトナムとカンボジアに行ってきます。

中田 章：ついにアルコールを少し飲む時が参りました。

吉田正勝：相変わらず、家庭菜園、週2回のテニス、孫へのお菓子作り、蕎麦打ち等元気に過ごしております。



坂牧紀一：相変わらず趣味の農作業、散歩と元気に楽しんでいます。

岩村義昭：ビールをおいしく飲むために週3～4回のジョギング、歩き6割。

古座野行夫：今年4月で傘寿を迎え、長老の仲間入り？退職してから20年となりました。毎日一万歩を歩き、馬齢を重ねている今日この頃です。

傘寿おめでとう!

福島利光：今年冬の記録的豪雪を経験し、間もなくやって来る夏の酷暑を予想しながら、新緑の空に泳ぐ鯉のぼりを眺めています。極端な気候変動のためか、年のせいなのか、1年が短く感じられます。



高橋正雄：脳を除いて五体ほぼ満足。マイブログ「臨床検査の光と影」に近況が・・・目下OM-D（デジカメ）に夢中です。

軍司光夫：一昨年、同窓会、OB会もすべて解散会となり、寂しい限りです。残るは本会OB会と、水戸病院検査科OB会のみとなりました。元気なうちは本会OB会には、出席したいと思っています。よろしくお願いします。



山崎将宏：元気でおります。今年も残念ながら予定があり出席できません。皆々様によろしく。



多田彊平：前の大雪の3日後、足をすべらし転倒し、頭にコブを作ってしまった。足腰弱ってきているのか？でも気力は充分です。6月7日楽しみです。

佐藤乙一：相変わらず西武学園で、シャベリ続けており、その延長線上で実習病院や、卒業生の就職先、国立病院を訪問しています。でも年齢のせいで無口(?)に近くなりました。



木下忠雄：相変わらず西武学園で言語聴覚士の授業と、実習施設の訪問を続けています。先日は、学生募集の高等学校訪問で、教育実習校の門を40年ぶりにくぐりました。

原 和子：当日は所用があり、欠席いたします。お陰様で元気に過ごしています。歌舞伎座通いがくせになりそうです。

奥田 勲：ご無沙汰しております。今年も年1回のお楽しみ会（OB会総会）がやってきました。私も参加させていただくのを、楽しみにしていたのですが、当日(6/7)は日臨技関係で、島根県に出張となり、残念ながら欠席させていただきます。次回は必ず・・・ よろしく願いいたします。

佐藤蓉子：役員の方々ご苦労様です。

又、元気で皆様にお逢い出来ること、うれしく楽しみにしております。

田上高德：今年も九州の宮崎に帰っています。初ガツオを焼酎の肴にして、いただいています。



高野 了：姉の介護等もありますが、身体にも自信が持てず、欠席させていただきます。

大貫經一：クローバー、苦土石灰を用いて、土作りを始めた菜園で、どのような野菜が土と相性が合って、生育していくのかを楽しみにしています。ジャガイモ、ゴーヤは収穫できそうです。



ジャガイモ



近況報告 (2)

宮崎澄夫(新入生)：2か月間の充電期間で初めてのノンビリ生活が送れました。今後は仕事に着き、趣味の写真も楽しみたいと思います。



渋谷千春(新入生)：元気です。体を動かさなくなりました。食べ過ぎ飲み過ぎに注意し多少の運動をしています。



大野 清：会員の皆様には、益々ご健勝のことと思います。退官して7年目になり、月日が経つのを早く感じています。勤務先の104歳の女性に長生きの秘訣を尋ねたら、「笑顔」と話されました。(読売新聞平成26年5月8日付、気流欄掲載)日頃から「笑顔」を心掛けて、明るく元気に生活したいものです。なお、当日は仕事の都合で欠席いたします。



揖斐正敏：整形リハビリの日々です。皆様のご多幸を祈念いたします。

和田佳子：毎日ラジオ体操をするように努力しています。



国見忠義：会員の皆様お元気ですか。我輩は今年70歳になり、世田谷区より後期高齢者の国民健康保険高齢受給者証が届きました。3月から4か月間医療費窓口負担金の割合が1割の特例措置です。有り難く感じてる今日この頃です。

斉藤信一：週に二日、学校でお世話になっております。残りの日は家の事で目一杯動いています。老いて増々自分らしさが出てきました。



坂本 修：最近、近くの物に焦点を合わせるのに、少々時間がかかるようになったが、ボケや成人病で病院通いをすることなく、穏やかな日々を送っています。また、家庭菜園、花壇作り、愛犬(シバ2才)との散歩がストレス解消と

なっています。

椎津 稔：庭球・ビール・陶芸・冷酒・溪流釣り・ウィスキー。まだ常勤で働いております。当日は宮崎へ出張しており参加できません。皆々様に宜敷ご伝声下さい。



植園健一：元気に週2回のバイトをしながら、海、山、野原の趣味を楽しんでいます。最近、物の整理を兼ねてネットオークションにはまっています。



三橋文子：相変わらず元気に遊び暮らしています。週1ゴルフ練習、月1コースに出るようにしています。この所、親しい友人を2人、肺がんでなくしました。そういう年になってきたのだと実感しています。



神 ツギノ：非常勤2年目に突入しました。60代は高齢者に非ずの意気込みでがんばります。

小坂 諭：就活中です。Facebookに近況を載せていますので、ご覧下さい。

宮野勝秋：昨年11月30日をもって、民生児童委員の3年の任期が終わりました。平成26年度から3回目の自治会長を今年1年頑張っていこうと。野暮用が多く島旅、粟島と飛島を予定するも実現しません。

石井光男：早春から(脊柱管狭窄症)に悩まされています。どうやら春の菜園作業(100本ばかりの苗植え付け10種程の種蒔)は終了しましたが、外出は控えています。



松田常次郎：趣味の家庭菜園、特に春は重要な時季、諸準備に追われる毎日です。

永井 忠：近況報告なし。

古家正道：今のところ何とか元気でやっています。

今野清子：元気印で日々動き回っています。

河村静枝：早いもので定年して3年になります。ボランティア活動に頑張っています。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

近況報告 (3)

計良秀世：お陰様で一応元気に過ごしております。82歳になりました。人間ドックではメタボ等指摘事項多数、精検事項一つ、近くに居るトキの声で目を覚まし、プランター菜園、ウォーキング等々有意義な日々を過ごしています。俳句、川柳も少々。たまに行くゴルフは4月にスコア85が出て自画自賛。いずれも健康のため続けたいと思う此の頃です。



角田高枝：若い頃に着た洋服を新しい形にするリフォームにはまっています。針に糸を通すのが少々やっかいですが、デザイナーになった気分です。元気でーす。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



並木信治：今年は民生・児童委員による調査月間で、高齢者（等）宅を約400所帯廻ります。先日は池袋の好日山荘で登山靴を買いましたので、低山歩きを考えています。また、カメラは相変わらず、飽きもせず続いています。



渡辺純夫：昨年11月前立腺癌の手術、ロボット（ダヴィンチ）で行い元気になりました。PSA値は9と高値で早期発見で治りました。皆さんから元気をもらいに行きます。ありがとうございます。いつもお世話になります。



福元幸子：ほどほどの元気で、スポーツ、旅行楽しんでます。

中村春木：当日講義の為欠席します。皆様に宜しくお伝え下さい。学校で使用する教科書の為に、本を出版することになり、先日書き上げた原稿を渡して、校正してもらっています。卒業式では受講生達から、写真入りの寄せ書き等いただき、頑張ってきて良か



ったと感激しましたが、また新しい生徒達の対応に四苦八苦した毎日を送っています。

油井慎暉：まだ元気で働いています。

原田武江：元気ですが、遠くまで外出するのが億劫になってしまいました。申し訳ありません。

後藤真澄：所用で欠席します。昨年3月で退職して自由時間の多い生活に慣れました。

山本優美子：3月いっぱい非常勤職員を退職致しました。（最近昼寝を覚えてしまいました）

飯島正己：近況報告なし。

熊井健晴：何とか元気にやっています。

堀口日出子：特別な変化もなく、日々過ごしております。毎回のOB会だより、楽しく拝読させて頂いております。

三村礼子：ご苦労様です。本日一身上の都合によりOB会を脱退させていただきます。尚、この会のますますのご繁栄をご祈念申し上げます。

小林和博：4月から町会の役員を務めております。

杉澤頼昭：日程の調整ができず、出席できません。申し訳ございません。介護施設での業務を続けさせていただいております。



大館光子：微力ですが、夫と自分それぞれ元気で、趣味とボランティアを続けられる事に感謝している毎日です。

紺野新吉：孫の誕生会出席のため、よろしく。

相賀静子：元気にしております。いつもご連絡を有難うございます。

岩下浄明：月に一度、福島に行って小児甲状腺超音波検査を行っています。

鈴木良子：今年は、30数年前共に働き始め

た、3名の方々が定年を迎えまし



た。潮流が変わり、もまれながらも懸命に仕事に精を出し、無事終了しうれしい限りです。ゆっくり語り合う機会ができ、楽しみにしている日々です。

近況報告 (4)

大西真理子：法事があるため、今回はたいへん

申し訳ありませんが、欠席させていただきます。

上杉健治：家庭菜園を楽しんでいます。

大脇佳則：無職です。親の介護をしています。

益子満男：年を重ねる毎に医者通

いが多くなりましたが、現在は

何とか、息災に過ごしております。

OB 会のご盛会を祈ります。

中島 治：悠悠閑閑、優遊自適を希求して・

・

笹村 強：JA 愛川に出荷して
4年になります。

秦 政行：OB 会の会長を退任
してからテニスを始めて、
楽しいテニス同好会で頑張
っています。もちろん陶芸
の作品造りにも頑張ってい
ます。

石川修子：65歳以上(25, 1%)の仲間入
り。年々体力・気力の衰えを感じながらも、
仕事・趣味を続けております。年に一度懐か
しい皆様との再会を楽しみにしております。

山田敏也：ゴルフ初めて1年半に
なりますが、上達？ま
だまだ・・・それから
庭にグリーンカーテン
と他の野菜を植えました。

下杉彰男：会務ご苦労様です。OB 会の皆様
には昨年末来、亡妻の葬儀折、何かとお世
話になりありがとうございました。単身の気楽さと孤独の
さび、わびしさを味わいつつ
体調の維持に努めています。
先ずは厚くお礼申しあげます。

深澤文子：定年後1年になりました。今年3
月末には、1年間の非常勤生活にも別れを
告げ、新たな出発をいたしました。ライフ
ワークの輸血の勉強会は続けようと思い、

先日、輸血学会で奈良に
行ってきました。若い後
輩と夕食を共にし、病院
勤務を懐かしみました。
ところで、5月末最後の
(?) 引っ越しをしまし
た。今のところ、終の棲
家と考えております。役員の先生方には、
住所がころころ変わって申し訳なく思っ
ています。

献血できる施設



鈴木武雄：元気です。

佐藤剛広：毎日運動をして頑張っています。

大高忠司：所用の為出席できません。

霜田重雄：昨年から週2日検査の仕事をして
おります。OB 会当日は仕事の為、欠席さ
せて頂きますが、今後ともよろしく願い
いたします。

永井英司：幹事ご苦労様です。出席の予定で
したが右足を痛めてしまい残念です。出席
できません。皆様に宜しくお伝え下さい。

片山紀美代：今現在、検査結果異常なしと云
われ、2年間のブランクを取り戻そうと、
あれこれ急激に動きすぎました。少々ダウ
ン気味です。

塩沢勇治：相変わらず卓球、
自転車などで楽しんでいま
す。元気にやっています。

鈴木忠利：母(94才)のみとり(昨年11/16
死去)の後49日過ぎてからは、介護初任
者研修を終了し、家庭菜園
に日々を送っています。

松本はつ代：相変わらず元気
に遊んでおります。時々家庭菜園。

鈴木知恵子：重い荷物をいつも
持っていたせいか、指が腱鞘
炎になり、注射と塗り薬で、
どうにか改善しホッとしてい
るこの頃です。



永井利昌：皆様にはご無沙汰致しております。
もう少し上京できると思っていたのですが、
高齢者クラブ、町の体育部長、校区の事務
局長と4、5月忙しい日を過ごしています。
体力の衰えと物忘れ激しくなる中、どうに
か元気だけはと思いながら・・・。

OB 会役員の皆様、会務ご苦労様です。

近況報告 (5)



山下幸作：今のところ元気に暮らしております。OB会の発展をお祈りします。

桑原幸子：歩行の不調と同時に、白内障の両眼手術後のため、出席できません。

杉崎 登：日々元気に仕事に励んでいます。6/1~6/2 に田植えが終わり、ほっとしています。今年の天候はどうか、気になります。

小原千秋：働くことの喜び、運動する時の楽しさ。年を重ねるごとに思う健康の有難さ。
“アンチ エイジング”

田島詔吉：昨年に入会しました田島です。現在、神経センターでお世話になっています。月～木の勤務ですので連休を利用してよく旅行に出かけ楽しんでおります。

新宿・戸山町で発掘された人骨に思う 佐藤乙一

平成 26 年 5 月の連休も終わろうとしている 6 月、今回も植菌健一さんが、新宿戸山町で発掘されたとする人骨資料をドッサリと送ってくれた。多分編集して本紙に掲載せよということではないかと思った。

もとより本紙は業を終え、名を残した定年後の方がたの集団であるから紙面一杯に小文字で切れ目のないベタ記事にしては多分読む人も少ないだろうと思った。そこで、業を終えた人びとにふさわしい大文字で、オーザッパに紹介する方が面白く読んでくれるのではないかとひとり合点したという次第。

まず私がこの紹介をしたのは、平成 22 年 7 月 8 日付けの毎日新聞社会面記事に根拠を求めたものだった。

その内容を要約すればざっと下記のようなものである。上記のようなベタ記事にならないようにまとめてみよう。

資料は、厚労省が発出(これは官庁用語だが)した平成 13 年 6 月 14 日付けの文書に始まる。その見出しは「戸山研究庁舎建設時に発見された人骨の由来調査について」とする広報用文書。要約すれば

- 1) 新宿戸山町に研究所建設の工事中、土中から 62 体の人骨発見。
- 2) この人骨にはドリルによる穴が人為的にあけられていたが警視庁で犯罪によるものではないと判断。新宿区で保管した。
- 3) この土地の管理者は厚労省だから同省が調

査したわけ。

4) ここは旧陸軍軍医学校の跡地であるため旧厚生省は 368 人の方がたに面接調査をしたとされる。

5) その結果は以下のようなものだった。

- ①これは昭和 20 年 8 月以前の旧陸軍軍医学校にあったもの等らしい。
- ②その大部分は空襲により焼失したらしいが終戦後に埋められたものらしい。

その後の調査

資料はたくさんあるが、本紙の性格上詳報は不可能である。

- 1) この人骨は 100 体以上あった。
- 2) 厚生省は焼却処理をしたかったが、時の厚大臣の英断で調査することに。
- 3) 新宿区は焼却埋葬しようとしたとき 109 名の区民は焼却反対で訴え最高裁まで争ったが、区民が負けた。
- 4) これらの遺骨は新築した旧予研、新感染症研究所敷地内に保管場所を作り葬っている。

軍医学校とは何か

- 1) 私の知る限りでは、軍医学校とはすでに戦争中医師免許を得た者が軍隊で兵隊達の医療を行うように再教育をする学校。
- 2) 学生は甲種、乙種、丙種、丁種まであり医師、歯科医師、薬剤師、レントゲン従事者、検査従事者の専門教育を行っていたとされ、これを軍陣医療と呼んでいた。

私共の先輩にはこの丁種学生がたくさん居たし、あとは北京その他にも分校を作っていた。

次ページに続く→

隣人は仲間ではなかった

佐藤乙一

長い間組織活動をしていると、いい思い出は少なく嫌な思い出の方が多い。「昔から寝首を搔かれる」という諺もある。時にはこんなこともあったのだという泣きごとを紹介するのも慰めになるだろう。

すでに一部の人は故人だったり、年限経過しており常識的には時効の話でもあるからだ。

1 日臨技会総会時、相手の失脚ねらう

時は昭和42年、日臨技は法改正近しで湧き返っていた。筆者は渉法部担当副会長だったから、法改正案の企画、立案、提案まで行う任務。当然総会提案であるから、執行部は何度も費やして検討、多くの議論を呼びながら業務独占(制限)に展望が開けそうもないので点数は辛く70点評価で成立したという辛く苦い思い出は尽きない。

総会が終わったあと、国立村山病院の某技師さんと2人になったとき小さな紙きれを出して言うのである。「都臨技の割り当てだから、あなたが渉法部に質問せよ」というもの。見ると「日臨技から地臨技に指示して・・・」の指示は「労組用語ではないか」という質問だ。その紙の字を見て驚いた。メモ書きの字は、当時私の隣に座っていた同列の副会長の字だったのだ。明らかに相手の失脚をねらい悪意に満ちた行動の肉筆の字体はかくせない。

やがて組織内で問題に、かくて将来会長をねらっていた同氏はここで完全に信用を失い、再び日臨技に顔を出すことはなかった。

2 私の行動が警察官につつ抜け

このことはかつて簡単に触れたことがある。

ある国立療養所にXという臨床検査技師長がいた。東北出身であり、軍隊時代から居残って技師長になった人。この人の同郷出身にYという警視庁警察官がおり、係は同庁の保安2課つまり労組のデモや思想を担当する部署担当員だった。その警察官が私を追跡していたのだ。反対に私も相手を調べてわかったこと。その技師長はよく私を誘い「厚生省への動員に参加しよう」と来たものだ。ところが、この時の一部始終がこの警察官に報告されていたのである。まるで犯人を作らせて逮捕するようなもの、これを知った当時の技師長さん方「ひどい男だな」と。いやチャランパランの人だった。

計画的に犯人を作らせて逮捕するとみられる手法。私も手を打った。だがその方法は、ここでは説明しないことにしよう。

ところでこの男の家は僧職(坊さん)らしいのだが、その男はなんと鉄砲を持って鳥を追い、兎を撃つ趣味あり。私もハクセイの山鳥をもらったことがある。

(以上 731 部隊説明は、筆者の記憶でもある)

人骨問題究明会の活動

1990年1月新宿で「軍医学校跡地で発見された人骨問題を研究する会」が究明のための活動を行った。例えば

- 1) 厚労省交渉、新宿区・東京都などへの究明陳情。
- 2) 731 部隊遺族の調査、面談など。
- 3) 証言者の発掘。

多くの本を出した

下記のような本も出版したという。

◎戦時医学(戦争中は軍陣医学といった)の発行

◎人骨は訴える

◎骨は告発する

◎日本医学アカデミズムと731 部隊 など

(以下略す)

新宿・戸山町で発掘された人骨に思う

731 部隊との関係

731 部隊とは関係が深かったという。ここはロシア人や中共軍などの捕虜に対し凍傷実験や毒ガス致死実験、動物血液の輸血、生体解剖、病原菌発病試験など残虐な人体実験を行うなど国際法上の禁止行為を強行した戦時医学犯罪だった。ここの深い関係もあったとされる。

ここは日本の敗戦(ポツダム宣言受諾)を憲兵隊とともに10日も前に知り、捕虜虐殺資料などは早々焼却証拠隠滅を図った。

お知らせ



関信支部ホームページ

ホームページアドレス
http://kanshinshibu.org

ユーザー名 : kansin
パスワード : kansin

平成26年度 会費納入のお願い

今回、会報60号と共に振込用紙が
同封されている方は、本年度(平成26
年度)会費の納入をお願いします。

平成26年度年会費 **2,000円**
(総会・懇親会出席者は納入済みです。)

平成27年度年会費は
3,000円に値上げされます。

第42回国臨協 関信支部学会開催

上記について下記の通り開催されます。
OB会会員皆様へのご案内がありました。

日時 : 平成26年9月13日(土)

8:30 ~ 16:40

会場 : 国立国際医療研究センター

国際医療協力局

学会テーマ : 「輝く未来へ!

プロフェッショナルとしてチャレンジ」

学会長 : 国臨協関信支部長 峰岸 正明

関信支部ホームページ、このユーザー名と
パスワードで閲覧可能です。OB会の会報等
が掲載されています。

平成26年春の叙勲

福島光夫さん(元甲府病院臨
床検査技師長)瑞宝双光章
を受賞されました。



永年のご功績に敬意を
表し、心からお祝い申し上げます。

平成26年度役員氏名

会 長	小 原 千 秋 (留)
副 会 長	宮 野 勝 秋 (留)
事務局長	藤 川 淳 策 (留)
事務局長補佐	奥 田 勲 (留)

会 計	岩 村 義 昭 (留)
会計補佐	大 貫 経 一 (留)

会計監査	渡 邊 純 夫 (留)
〃	今 野 清 子 (新)

役員推薦	
委員長	河 村 静 江 (留)
委 員	片 山 紀美代 (新)
〃	三 浦 隆 雄 (新)

編集後記;赤ちゃんは昨日は寝返りが出来なかつた、今日は寝返りが出来事故に、年寄り
は昨日は2~3cmの敷居がなんの事無く歩けたが、今日はつまずき骨折。成長と老化の大きな違いである。赤ちゃんは一日一日が成長であるのに対し、高齢者は一日一日と退化していく。百日紅(さるすべり)「猿滑」とも書く)約100日間、ピンクの花を咲かせる。」のが名前の由来らしい。この花を見ると相模原病院の技師室から見た花を思い出す。今日も暑さに負けんじとピンクの花が咲いていた。K.M